

## 令和4年度第1回柏市国民健康保険運営協議会会議録

### 1 開催日時

令和4年8月25日（木）午後2時から4時まで

### 2 開催場所

柏市柏五丁目10番1号

柏市役所別館4階 第5会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員

百瀬委員，清水委員，大嶋委員，齊藤委員，坂巻委員，石塚委員，大塚委員，小林委員，谷村委員

#### (2) 事務局

太田市長，谷口市民生活部理事，大滝保険年金課長，本郷副参事，有泉副参事，野澤統括リーダー，倉知主査（企画管理担当リーダー），入野主任（企画管理担当），横山主事補（同）

### 4 議題

(1) 令和3年度柏市国民健康保険特別会計決算見込みについて

(2) 新型コロナウイルス感染症に係る国民健康保険の対応について

### 5 議事（要旨）

事務局から資料に沿って説明を行った。これに対する主な質疑内容は次のとおり（（）内は発言者）

（清水副会長）

資料1の8，9ページの基金残高の繰入金の推移について，令和4年度末取崩額の見込として，11億3，000万円である。年度末残高の見込が7億5，000万円とあるが，これは令和4年度以降になると基金の取崩しが厳しくなるということか。

（大滝課長）

御指摘のとおりである。

(清水副会長)

資料2の7ページの傷病手当金について、支給金額の2,158,130円というのは、一人当たりの金額か。

(大滝課長)

支給決定人数35名分の総額となる。

(清水副会長)

近年精神疾患の方が非常に増えてきている。その方たちの医療費の推移はどうか。

また、糖尿等による腎不全の方で、人工透析を受ける方が非常に増えている。この数年でどのくらい増加しているか。

(大滝課長)

1点目の精神疾患関係については、後日資料を配付する。

(有泉副参事)

2点目の人工透析患者数について、平成20年から令和元年の分析の結果があり、平成20年の5月は271人、令和元年は310人という結果である。

また、人工透析患者のうちⅡ型糖尿病が原因である方の割合は66.2%である。

(百瀬会長)

基金を取り崩すペースが予定よりも早くなっている。補足説明をお願いしたい。

(大滝課長)

資料1の9ページ記載のとおり、令和3年度、4年度は保険料を改定せず据え置いたため、基金残高の減り方が急激になっている。令和4年度に11億3,000万円取崩した場合、年度末には基金残高は7億5,000万円となり、厳しい状態である。

(百瀬会長)

平成30年度以降、国保の財政運営の都道府県単位化が行われている。そうしたなかで、財政改善のために柏市が取り組め

ることがあれば、説明をいただきたい。

(大滝課長)

保険料率上昇の抑制のための収納率向上，滞納繰越分徴収，また積算の元となる歳出削減のための保健事業に対して，引き続き注力して参りたい。

(百瀬会長)

保険者努力支援制度では、具体的にどのような部分が対象になるのか。

(大滝課長)

収納対策と保健事業等が評価対象の中心である。

(百瀬会長)

柏市保険料の応能割・応益割の賦課割合はどれくらいか。

(大滝課長)

57対43で運営している。介護保険分については53対47である。

(大塚委員)

国民の2人に1人ががんを経験する時代になってきており、近年抗がん剤の治療が進んでいると思われる。

実際に抗がん剤を使って高額な医療費になっている患者が増加しているが、医療費に関して状況を把握をしているのか。

(大滝課長)

令和3年の4月から令和4年の3月までの1年間の医療費を確認したところ、最高額の方は2億円以上であった。

他にも5,000万円、2,000万円とかかる方もおり、1,000万円以上かかった方が100人であった。

そして、人工透析、抗癌剤の使用者（500万円以上かかる方）が611人であり、加入者の1%程度である。

(大塚委員)

資料1の17ページについて、ジェネリック医薬品の数量シェアが令和2年から令和3年まで減少してきている。生活保護

の受給者は先発品を希望される事が多いが、何かアプローチを行っているのか。

(大滝課長)

保護の受給者への働きかけは行っていない。

(大塚委員)

ジェネリック医薬品関係の通知は何か月ごとに送られているのか。

(大滝課長)

年に4回、ジェネリック差額通知を送付している。

6 傍聴

3名

令和4年8月25日

柏市国民健康保険運営協議会

会長

百瀬優